

認知症作業療法 活動報告（概要）

徳島県作業療法士会では、昨年度から引き続き認知症予防をテーマとしたツールの開発とその普及に取り組んでいる。また、RUN伴の開催や、認知症アップデート研修の実施も予定している。

認知症予防事業

昨年度より取り組んでいる認知症予防すごろく“あわーずスマイルすごろく”から、“ラシーサカード”と名称を変更し、マニュアルの作成と研修を、県士会会員向けに行う。

このカードは、認知症予防にはもちろん、普通のレクリエーションツールとしても使用できるものであり、研修会に参加した会員には、マニュアルとカードデータなどを配布する。

また、これらを作業療法啓発活動のイベントの際に、パンフレットの配布や、ラシーサカードを使用したすごろく体験、自分らしきチェックを来場者に行った。



認知症啓発事業（RUN伴）

地域での開催の定着を図るため、昨年に引き続き石井町にて開催する予定である。

徳島では、参加者に副町長やご当地キャラ、近隣の老人保健施設入所者様、また大人だけでなく、子供たちも多数参加している。



研修事業

認知症アップデート研修を2月に開催する予定である。

今年度は、内容を刷新し、時期別のアプローチをテーマに研修を行う。講師は認知症支援推進委員会の委員が務め、より実践に役立つ研修となる予定である。

今後の展開

- ・ラシーサカード普及事業
- ・認知症アップデート研修のブラッシュアップ
- ・RUN伴の開催